

横浜市民広間演奏会のあゆみ 第5幕 <横浜文化賞受賞記念号>

横浜市民広間演奏会の半世紀の活動に対し嬉しいご褒美がありました。

まずは2018年11月22日に行われた横浜文化賞贈呈式の様子をお伝えします。

第67回横浜文化賞贈呈式は華やかなファンファーレで始まり、たくさんの観客の拍手と共に受賞者が来場。横浜市消防音楽隊と共に会場のみなで横浜市歌を歌いました。そして、横浜文化賞選考委員長から受賞者の紹介があり、林市長から賞状、トロフィー、目録の授与が続きました。最後に受賞者、林市長からのコメントがありました。

#### 高丈二会長のコメント

*「今日は本当に嬉しい日です。この様な賞が頂けたことに感無量です。カルメンお美で名を馳せた歌手佐藤美子のもと発足した横浜市民広間演奏会は、51年間彼女の意思を継ぎ市庁舎のロビーコンサートを開催、市民に素晴らしい音楽を提供して参りました。*

*これからも精進を続け、熱意をもって活動に取り組んで参ります。これからも多くの方々の応援、ご支援をよろしくお願いいたします。」*

#### 林文子市長コメントより抜粋

*「春と秋、暑い日も寒い日も素敵な音楽と衣装で、素敵な時間を届けくださりありがとうございます。すぐそこにある音楽。敷居の低い音楽を文明開化の歴史ある横浜にて市民に届け、51年間もボランティアで続けていることはすごいことだと思います。人と文化こそが都市の財産です。これからもただ足早に街を通り過ぎるのではなく、様々な文化に接することができる、この都市を守り、時代の空気を感じながら発展して行ければと思います。」*

(2018年 11月22日(木) みなとみらい小ホールにて)

---

文化賞受賞記念号の今回は、横浜市民広間演奏会の舵取りをして下さっている高会長宅にお邪魔しインタビューを行いました。

—まずは、横浜市民広間演奏会との出会いについて教えてください。

「みなとみらいホールを訪れた折、横浜のすがすがしい風に魅力を感じ、10年ほど前に東京から横浜に転居しました。私は神戸出身で同じ港町である横浜には親近感を持っており、そこへ大学の先輩で元会長の中村義春先生(現名誉会員)が、訪ねていらっしゃいました。横浜市民となった今、市民のために何か出来ることがあれば。と考えておりましたので、会長をお引き受けすることにしました。」

—音楽との出会いについてお聞かせください。

「両親は事業を興しておりよく家に人を招いておりました。小学生の頃から人前で歌うことが好きで、歌を歌い拍手を頂いたとき、喜んで頂いたとき、とても嬉しかったことを今でも鮮明に覚えています。神戸高校時代は合唱部に所属していました。3年の進路を決める当時は建築と音楽に興味を持っていました。迷いましたが、音楽への強い気持ちがありましたので父親に相談しました。父親は大反対!!とても怒られました。そこで、音楽の先生、校長先生、芸大の先生方に説得をしてもらいまして、なんとか許しを得ました。私は3男ですが、父親は商売に向いていると感じていたようで、後を継がせたかったのではないのでしょうか。説得するのが大変でした。」

—先生の音楽に対する思いについてお聞かせください。

「音楽のジャンルにかかわらず、音は耳から入り、からだに入り、そして人間の活力になるものだと思います。

イタリアのヴェローナの音楽祭では、古代ローマの円形劇場の遺跡に3万人の人々が集い、音楽を楽しみます。

人は太古の昔から音楽、音の魅力に気づき楽しんできました。聞くとワクワクする。元気になるというような音楽をすることが大事です。」

—「生の良質のクラシック音楽を横浜市民に届けたい。」と始まった横浜市民広間演奏会。51年の年月の中で人々と音楽の関わり方が変化し音楽のジャンルも広がり続けています。そのような時代の変化の中、クラシカルなものど、どのように付き合っていけば良いので

しょうか。

「先代の教えを尊重することも大事ですが、こうである、こうでなければならない。と、クラシカルな考えに終始するのは残念なことです。楽譜に忠実であることは大切ですが、音楽を聴いてワクワクし元気になる。音楽を通してエネルギーを与えることができる。そのような動的な変化が聴く人のからだに呼び起こされるような演奏をすることが大事なのではないでしょうか。」

ー2019年の11月にはみなとみらい大ホールにて文化賞受賞記念、〈特別演奏会・50回記念コンサート※<sup>1</sup>〉が開催されます。

「お客さんに楽しんで頂けるようなコンサートを目指して多くの会員が力を合わせて行きましょう。

人が聴いている場所で演奏し、現場での雰囲気を感じながら自分の力を試していく。観客と演奏家の緊張感のある関係の中で演奏することから学ぶことは大きいと思います。それはお金で買えるものではありません。ボランティアでも得るものは多いのです。皆さんには市民のために生の良質の音楽を届けるという会の原点を忘れずに、所属しているこの会がどのような会なのかを理解した上で活動して頂きたいと思います。そのような活動から音楽性を磨き、厳しさの中で成長を続ける事。横浜市民広間演奏会での活動を利用し、大いに成長して頂きたいです。」

横浜市民広間演奏会のためにご尽力くださる先生の様々な思いに触れる貴重なインタビューとなりました。また2020年より横浜市民広間演奏会 特別演奏会は、名称を定期演奏会と改め開催いたします。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

※<sup>1</sup> 〈50回記念コンサート〉2019年11月2日(土) 13:30開演  
横浜みなとみらいホール 大ホール 入場無料 (要申し込み)